

①益田翔陽高校の2年生が農林大学校林業科を見学しました！

9月10日(木)に益田翔陽高校の2年生12名が飯南町にある島根県立農林大学校林業科を訪問し、施設見学と学校での授業の一部を体験しました。午前中は学校の説明を受けた後、学生寮と実習棟を見学しました。

午後からは農林大講師の指導の下、チェーンソーを使った丸太切り体験と、林業機械(フォワーダ・スイングヤード)操作体験、ドローン操縦体験を行いました。丸太切り体験では縦横に設置した丸太を切る作業を体験し、生徒からは「振動に慣れるまでが大変だった。縦に設置した丸太を切るほうが難しかった」との感想がありました。

また、近年、森林調査などで使用され始めているドローンの操縦では、手元のタブレットでカメラ映像を確認しながらドローンを高い位置まで飛ばしました。ドローンは何も操作しなくてもその場でホバリングするため、生徒からは想像したよりも操作が簡単との声がありました。今回の農林大での体験を通じて、生徒たちは林業や農林大に理解を深めている様子でした。



フォワーダ操作体験



ドローン操縦体験



丸太切り体験

②津和野高校の1年生が林業を体験しました！

9月14日(火)に津和野高校の1年生7名が町内の間伐現場で津和野林産(株)の社員さんの指導の下、林業の作業を体験しました。丸太切り体験では初めて使うチェーンソーに最初は戸惑いながらも徐々にコツを掴み、上手な生徒は3cm程度の薄さにも挑戦していました。また、伐倒体験では講師指導のもと、立木に見立てた丸太に受け口と追い口を作って伐倒を行いました。ツル部分が切れてしまったり、追い口が受け口よりも下に入ってしまったりと苦戦していましたが、どの生徒も最後は伐倒まで完了しました。体験した生徒からは「思ったよりも体力と正確さが必要だと感じた」との感想がありました。

また、林業機械操作体験では、生徒がはい積用機械のグラップルに乗り、走行と丸太を掴んで移動する作業を体験しました。生徒からは「機械が大きく最初は怖いと思ったが、操作に慣れると楽しかった」との感想がありました。

今回の学習を通して林業に興味を持っていただければ主催者として幸いです。



丸太切りの様子



伐倒体験の様子



機械操作体験の様子